

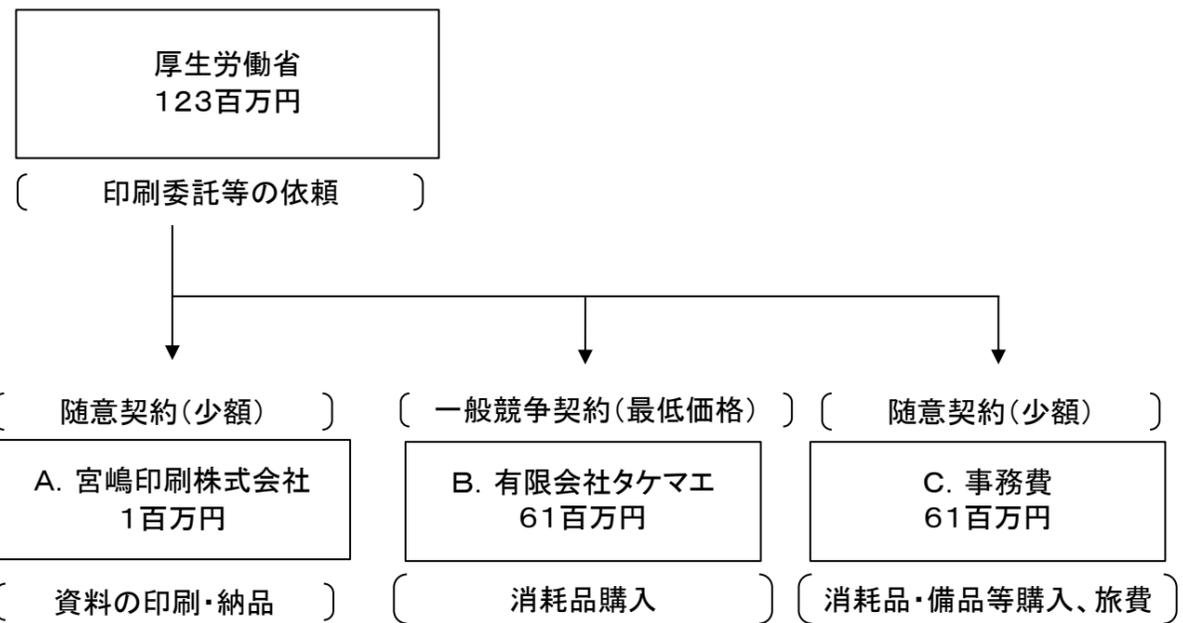
平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	行政指導費			担当部局庁	保険局			作成責任者		
事業開始年度	昭和40年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			城 克文		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	保険局職員が使用する医療保険制度資料を作成等することで、保険局事業の効率的かつ円滑な運営を図る事を目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	保険局職員が使用する医療保険制度関係資料等を印刷業者あて発注する。 保険局職員が参加する行政研修等の旅費を賄う。 保険局内で使用する消耗品を購入する。 保険局所管の行政文書を保管する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	59	80	58	58				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		59	80	58	58	0			
	執行額		79	90	123					
執行率 (%)		134%	113%	212%						
当初予算+補正予算に対 する執行額の割合 (%)		134%	113%	212%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	医療給付適正化業務庁費	57								
	職員旅費	1								
	計	58	0							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-									
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			主意書の回答書や会議の開催により、保険局の施策について適切に周知することで、ひいては医療保険制度の安定的な運営に資する。 なお、26~28年度については、おおよそ見込み通りの印刷数となっており、適正に事務費用の執行を行うことができています。						
	主意書、会議資料等の印刷経費であり、定量的な目標設定は困難。									
事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	主意書の印刷数	回答書から政策等の趣旨 を適切に周知するもの。	実績	件	14	14	4	-	15	
			目標値	件	17	17	17	-	15	
達成度			%	62.5	82.4	23.5	-	100		

単位当たりコスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
		主意書の件数より1件あたり費用を算出 (主意書印刷費用/主意書件数)						計算式	千円/件	1,307/14	1,182/14
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
		施策	施策目標 I-9-1 データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
		測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	
										-	-
						実績値	-	-	-	-	-
						目標値	-	-	-	-	-
			定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
						-	-				
					-	施策の進捗状況(実績)					
					-	-					
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
		主意書及び会議資料等の印刷にかかる費用を支出する。職員が使用する医療保険制度資料等を作成し、効率的かつ円滑な事業運営に資する事を目的とする。									
		改革項目	分野:	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	
							-			-	年度
			成果実績	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標			
					-			-	年度	-	-
				成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国 必 費 投 入 の 性	項 目				評 価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	主意書の回答や、公開で開催する会議の資料の作成は、社会のニーズに合致している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	国が使用する資料等の経費である。					
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	主意書の回答書は閣議に必要であり、優先度が高い。						

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	官報印刷に伴う競争性のない随意契約や、物品の運送・保管に伴う随意契約及び少額随契を除き、一般競争入札によっている。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	いずれの契約においても複数見積により最少額を支出している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	可能な限り通常の印刷で対応し、やむを得ない資料のみ業者発注している		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	可能な限り通常の印刷で対応し、やむを得ない資料のみ業者発注している		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	必要最低限かつ最少額で印刷を行えている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	主意書の印刷件数が見込を下回っている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	会議等で使用され、十分活用されている。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
関連事業	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	各経費の必要性を検証の上、一般競争入札や相見積もりを行うことで、経費節減に努める事ができた。				
	改善の方向性	今後も最小限のコストに抑えられるよう努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	259	平成23年度	230	平成24年度	196	/
平成25年度	229	平成26年度	241	平成27年度	251	
平成28年度	246					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

